

月刊

みやぎのボランティア・市民活動情報誌

2013

3月号

Vol.190

毎月1日発行

杜の伝言板

ゆるる

災害ボランティア・NPO活動



サポート募金

赤い羽根「災害ボランティア・
NPO活動サポート募金」助成事業

仙台市宮城野区



2011年3月14日(撮影・桑村和宏さん)

震災時と今



2012年9月9日(撮影・NPO法人20世紀アーカイブ仙台)



- NPO法人20世紀アーカイブ仙台
 - NPO法人ネットワークオレンジ
 - NPO法人さくらんぼくらぶ
 - NPO法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク
 - NPO法人ほっぶの森
- 【トピックス】

平成24年度地域づくり総務大臣表彰団体賞受賞
NPO法人蔵王のブナと水を守る会

3・11は風化する、 だから、記録し続ける

●NPO法人20世紀アーカイブ仙台寄稿・副理事長 佐藤正実

私たちNPO法人20世紀アーカイブ仙台は、もともと市民の方々が撮られた昔の仙台の写真やハミリを収集保存しており、震災後は、一般市民の方から一万九〇〇枚もの震災写真をご提供いただき、それらをWEBや記録誌にまとめてきました。この「市民が撮った」という所が私たちにとても重要な活動の礎となっており、大手メディアではなかなか伝えられない、市民目線で撮られた震災時の生活に密着した震災アーカイブに力を入れてきました。

●●● 定点観測の記録 ●●●

「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」として、昨年に取り組んだ震災アーカイブ活動は二つ。震災後に写された場所の今を撮る定点観測「3・11定点観測アーカイブ」活動と、画像提供者による写真解説などを行う「一般公開サロン」です。

「3・11定点観測アーカイブ」については、震災直後の状況を知らない人々に、この震災をどう伝えてい

くのか、と考えた時、地震の被害や津波が押し寄せた時の写真・情報に加え、さらに現在の写真を観ることでより実感してもらい、資料的価値が生まれるのではないかと、という考えで活動してきました。さらに、「これだけ変わった」という復興の面を見せるとともに、「これだけ変わっていないのだ」という両面を伝えていくことも必要だと感じています。

また、もうひとつの活動である「一



▲せんだいメディアテークで行われた公開サロンの様子

般公開サロン」。せんだいメディアテークで昨年五月から月一回「3・11定点観測写真アーカイブ・プロジェクト 公開サロン『みつづける、あの日からの風景』」を開催してきました。毎回、震災画像提供者四十五名をゲストに招き、全八回（その会場を変えて二回開催、計八回）延べ一般聴講者を含め約二〇〇名の方々に参加していただきました。当初は定点観測を進める上で、「いつ撮るのか」「どこを撮るのか」ということについて話し合い、後半からは「定点観測活動を広げる工夫」というテーマや、「3・11に興味・関心を持ち続けること、持ち続けてもらうこと」にポイントをしぼり、話し合ってきました。

●●● 風化するから記録する ●●●

これらの定点観測アーカイブ活動、そして公開サロンを一年間継続してきて、私自身の考え方が変わったことがあります。それは「3・11を風化させないように記録する」という発想から、「3・11は風化する。だから、記録し続ける」というものです。阪神・淡路大震災から十八年、高校生以下は震災非体験者になりました。世代が変わり震災を体験していない世代が増えていくことで自然と風化はしてしまふ。これは避けられないことです。そのために、今、

私たちが取り組まなければならないことが、「記録をし続けること」で関心をつないでいく」ということなのです。次世代に3・11への関心を持ち続けてもらうには、まずは当事者である自分たちが残せる資料を「形」にすること。そして若い世代の人たちも含め、後世に残す意味を一緒に考えながら行動することだと思っています。

さらに付け加えると、余震が続き不安な時間が流れていく中での生活を写した震災記録写真には、外に出にくい心の中に秘めた言葉があるということ。これらは写真のアーカイブだけでは全体像を伝えきれず、前作の「キヲクのキロク」同様、体験談などのテキストアーカイブも併せて残していく必要性がある、と強く感じています。

戦前・戦後の写真が、時を経ていま活用されているように、これらの記録資料が、被災地に住む市民からのメッセージとして、また後世に残すべく記憶遺産として、広く長く語り継がれていくことを願ってやみません。

NPO法人20世紀アーカイブ仙台

〒983-0021 仙台市宮城野区田子1-11-2

●TEL : 022-387-0656

●FAX : 022-387-0651

●E-mail : npo@20thcas.or.jp

●URL : <http://www.20thcas.or.jp/>

未来の気仙沼を見据えて

● NPO法人ネットワークオレンジ

NPO法人ネットワークオレンジ（以下、ネットワークオレンジ）は、気仙沼で障がい児・者を対象とする「福祉事業」と、障がいの有無にかかわらず暮らしやすい街を目指す「まちづくり事業」の二つの事業を柱として活動する団体です。

●●● 素早くった復興への動き出し ●●●

震災ではそれまで運営していた三つの事業所のうち、二つが全壊しました。しかし、日頃から宮城県沖地震に備えていたことが功を奏し、スタッフ・利用者とも全員無事。被災を免れた事業所に避難し、震災当日夜には激しい余震の続く中、対策会議をしました。

従来の生活に戻るにはかなりの時間がかかると判断した上で、①スタッフの雇用の確保、②利用者の安全確認、③早期再開を決意。かろうじて残った事業所「アットホームオレンジ」を利用し、震災からわずか十二日で児童デイサービスを再開させ、避難所で困難を抱えていた障が

い児とその家族を支えました。

四月十七日には気仙沼復興祈念イベント「共に創ろう！気仙沼」を開催し、二〇〇人以上の市民を集めました。その際、震災後の課題を学び合い行動するための「気仙沼みらい創造塾」を立ち上げ、市民から五万円を超える寄付が集まりました。

創造塾の活動はブログによる情報発信、支援物資の配布、被災者の心を回復させるイベント開催から始まりました。そして、その年の八月には「気仙沼マルシェ」、十一月には「東北マルシェ」を開催しています。

この東北マルシェは、地元の店主や個人が創造塾主催の講座・ワークショップを受講したうえで、屋台市に出店する実践型ビジネススクールです。被災して直面した問題をソーシャルビジネスの手法で解決しようと、高校生から店主、主婦まで幅広い市民が参加しました。経済産業省による被災地におけるソーシャルビジネスのモデル事例の一つにもなりました。二〇一一年だけでなく、昨年にも開催されています。

●●● 福祉事業も順調に継続 ●●●

震災前から行なっていた障がい者の自立支援事業「地域塾」があります。もともとは三事業所を使って運営していた地域塾ですが、震災でうち二事業所が使えなくなったため、震災後しばらくは「アットホームオレンジ」で活動してきました。その間、二〇一一年六月に新しい事業所「三日町オレンジ」がオープン。「三日町オレンジ」の環境が整った十一月、地域塾のうち障がい者の就労支援を行なうオレンジエッグがそちらに移りました。

また、放課後等デイサービス事業のオレンジキッズ、オレンジキッズ利用児童の兄弟を預かるスマイルサポートも昨年五月から三日町オレンジに移って活動しています。今年六月には、オレンジキッズ、スマイルサポートは現在建設中の新事業所



▲今年2月に行われた「東新城オレンジ」の地鎮祭

「東新城オレンジ」に移り、本格的な再開となります。

●●● 気仙沼を未来へのロールモデルに ●●●

ネットワークオレンジでは、二〇一一年には被災者、市民の心のストレスを回復させることに重点を置いていましたが、昨年はより気仙沼の未来を見据えた活動へとシフトさせました。その一つが障がい児・者によるアート創作事業「Orange Canvas」。本来、地域塾塾生の心の安定をアートを通して図る事業ですが、このOrange Canvasから発信した作品は海外からも高い評価を受け、海外の雑貨屋でも販売されています。今年の三月にはアート作品展示会「東日本大震災からのRESTART」を開催する予定です。

現実には震災で観光資源や雇用が無くなり、人口も減っている気仙沼。しかし、代表理事の小野寺美厚さんは「気仙沼が、試行錯誤しながら未来を創るロールモデルになれば」と希望を持っています。

NPO法人ネットワークオレンジ

〒988-0085 宮城県気仙沼市三日町2-2-15
●TEL: 0226-22-6723 ●FAX: 0226-29-6884
●E-mail: info@network-orange.jp
●URL: http://network-orange.jp/

避難者と地域との懸け橋に

●NPO法人さくらんぼくらぶ

今年二月、登米市にある南方仮設住宅団地第一集会所で手芸に勤しむおばちゃん、おばあちゃんたちの姿がありました。彼女たちが作っているのはカレイを模した『立ちあガレイコースター』。『立ちあガレイ』は南方仮設の支援を行なうNPO法人さくらんぼくらぶ（以下、さくらんぼくらぶ）が考案しました。

さくらんぼくらぶは二〇〇三年から登米市迫町佐沼で高齢者のデイサービスをしている団体です。

●●●仮設住宅で定期サロンを継続●●●

南方仮設住宅では主に南三陸町から避難しているおよそ三五〇世帯の人々が生活しています。さくらんぼくらぶは登米で活動するNPOとして、二〇一一年七月から南方仮設に住む高齢者を対象にサロン活動を定期的に実施してきています。

当初はさくらんぼくらぶ敷地内のプレハブを使っていた活動でしたが、その年の十月からは仮設住宅内の集会所を利用できるようになりました。

た。現在は毎週月・金曜の午後開催しています。

冒頭の立ちあガレイコースター作成も仮設集会所でのサロン活動の一環。カレイの形に切り取ったフェルト布にさくらんぼくらぶスタッフが刺繍用の下書きを描き、サロン参加者が色とりどりの糸で縫いつけます。

参加者からは「手作業をしていると夢中になってありがたい」との声。作った立ちあガレイは仮設住宅を訪問した外部支援団体などへお礼として配られています。

仮設のサロンでは、ほかにもいろいろな活動をしています。例えばコー



▲『立ちあガレイ』を作る南方仮設の住民のみなさん

ラス練習。今年四月に東京からコーラスサークルが慰問に訪れるため、それに向けて練習に励んでいます。

●●●仮設住民と地域を結び●●●

さくらんぼくらぶでは仮設住宅内でのサロン開催のほか、それとは別に外出型イベント「郷GO!!喫茶」も月に一度行っています。

南三陸から移ってきた人々にとって登米はなじみの薄い土地。とくに高齢者にはなかなか外出の機会もありません。そこでさくらんぼくらぶでは貸切バスを使って仮設住宅の人々を季節ごとに花見、芋煮会、りんご狩り、運動会などの野外イベントに連れ出し、普段はなかなか味わえない楽しさを提供してきました。

今年に入り、仮設住宅支援は新たな段階に入ります。これまでリフレッシュ目的だった外出イベントですが、今後は地域住民との交流を深めることに重点を置く予定です。今年一月には仮設住宅に住む高齢者とともに登米市内の保育園を訪問しました。以前、逆に園児が仮設住宅を訪問することはありましたが、仮設住宅から出向くのは初めての試み。四月以降には、地域のゴミ拾いや町を知るためのウォーキングへの参加も呼び掛けていくつもりです。「仮設住宅に住む方だけでなく、みなし仮設に住んでいる方も巻き込んで

いきたい」と代表の熊谷由紀さん。

●●●自分たちも楽しまなきゃ続かない●●●

震災は、「さくらんぼくらぶ」という組織にも大きな変化をもたらしました。それは、NPOとしての基盤を強化しなければならないということに気付かされたのです。そのため、昨年よりNPOについてもう一度学び直し、組織の再構築を図っているところです。「これまでの福祉の目線だけにとらわれることなく、もっと深く地域に関わり、活動の幅を広げていくことが、私たちには必要なのだと思います」と熊谷さんはこれらの活動への抱負を語りました。

一方で、「だけど、張り切りすぎても辛くなるだけ。仮設住宅への支援にしても、団体の運営にしても自分たちが楽しまなければ長続きしません」とも言います。住民の一声をきっかけに社交ダンス会を開いたり、復興を盛り上げるために『立ちあガレイ音頭』作ったりと、たしかにさくらんぼくらぶの活動は楽しそうです。

NPO法人さくらんぼくらぶ

〒987-0511 登米市迫町佐沼字下田中55-2
●TEL: 0220-23-0266 ●FAX: 0220-23-0266
●E-mail: npo.sakuranbo.club@gmail.com
●URL: <http://blog.canpan.info/npo-sakuranbo-club/>

子どもの遊ぶ声も聞かれます

●NPO法人冒険あそび場・せんだい・みやぎネットワーク
寄稿・事務局スタッフ 米倉正子

「おー！ぼうひるだ」と、子どもたちが振り向く先には、ちよっと派手なビタミンカラーの車があります。これが、冒険広場Ⅱぼうひるのプレーリーダーが子どもたちのもとに走るプレーカーです。「プレーカー1号」と「あそびークル」、そしてトップに仙台四郎が描かれている「しろうGO」は、東京、名古屋、愛媛からの支援の車で、被災地の子どもたちのためにあちこちに出動しています。

●●●子どもの心に寄り添うということ●●●

●●●あの東日本大震災から二年。当法人が指定管理をしている海岸公園冒険広場は、津波の被害を受け、今も休園中です。この公園は、子どもたちがやりたいことを自由に思い切りやれる場として高い評価を得てきました。その理念はそのまま、このプレーカーに積み込んで各地を回っています。私たちの活動は、国内にとどまらずいろいろな国や地域からの支援を受けて成り立っています。それは、とりもなおさず次代を

担う子どもたちのためにという愛と希望が込められているものです。

子どもが、ひとりの人間としてたくましく豊かに育つこと、それを応援するために、私たちの活動があります。「遊び」を通して子どもが自分自身を育てる「自分育て」ができるよう、プレーリーダーは、ひたすら見守り続けます。震災で誰もが少なからず抱えてた心の痛みを分かち合い、その心に寄り添うことが、これからの長い復興への道を共に歩むことだと思ふのです。

震災後、自分たちの住む地域や子どものことを考える大人が増えてきています。プレーカーで回る遊び場も六か所となり、また更に増えていく見込みです。子どものためにつくられている遊び場ですが、子どもの声に誘われてか、大人たちも集まってきています。ある仮設住宅では、子どもたちが学校から帰ってくる前からお年寄りたちが集まり始め、「おぢやっこのみ」が始まります。「子どもの元気な声が聞こえる」といっちゃんねえ」「○○ちゃんのこ



▲昨年10月に若林日辺グラウンドで開催された「ニッペリアあそび場」

設が多い地域への移動販売に加え、サロン活動も行なっています。雨の日も雪の日も、このサロンを楽しみにしている方が増えてきました。「この人、津波で流されたんだ」と言っただけで突然知り合いを連れてくる世話好きの方もいます。サロン開設当初は、ただお茶を飲んでおしゃべりをしていただけだったのが、ここでお友達をつくり、どこかへおでかけするとの待ち合わせ場所としてと、近頃はさまざまな用途で活用されています。

●●●それぞれの「チカラ」を信じて●●●

とはオレも気になってたんだあ」と、子どもを見守る体制もできてきているようです。このお年寄りたちも、この子たちに見守られているのだと感ずることもあります。顔の見える関係で、見守り見守られながら、遊び場を居場所として活用していったほしいと思っています。

●●●地域資源の活用で居場所づくり●●●

冒険遊び場ネットワークのうちのひとつの事業に「地産地消ショップ運営」があります。きっかけは、若林区の農業振興と食育活動のために冒険広場でショップを開いたのですが、ここも津波被害に遭いました。今年度は、厚労省の社会的包摂・「絆」再生事業を活用し、地域資源（農産物）をいかした見守り事業として取り組んでいます。プレハブ仮設やみなし仮

このように、遊び場もサロンも、支援される人の受身の場所ではなく、次の活力への場所となってきました。まだまだ、未曾有の体験から心を開けない人も多いのですが、遊びの力、こどもの力、アクティブシニアの力をコーディネートして、以前にも増して生きやすいまちをつくりたいと考えています。

**NPO法人冒険あそび場
-せんだい・みやぎネットワーク-**
〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-8-17
日東ハイツ202
●TEL/FAX: 022-264-0667
●E-mail: asobo@coral.plala.or.jp
●URL: <http://www.bouken-asobiba-net.com/>

福祉をパワーに復興を後押し！

● NPO法人ほっぶの森

NPO法人ほっぶの森(以下、ほっぶの森)は、障がいのある人が一般就労するチャンスが少ないことを痛感し、二〇〇八年一月にNPO法人化し、高次脳機能障がいや精神・知的に障がいのある人のための就労支援を行っています。

被災地の障がい者の現状

ほっぶの森では、仙台の活動拠点での被害が比較的少なかったため、かなり早く通常の活動に戻る事ができました。

震災後、ほっぶの森では、宮城県七圏域の保健師と連携し、各地域の高次脳機能障がいを持つ方々の安否確認や必要な支援について、情報を収集し提供しました。

「高次脳機能障がいなど、見た目ではわかりにくい障がいのある人たちは、怠けているように誤解されたり、感情のコントロールできなかつたりで、周囲に理解されず、避難所で過ごすのが困難でした。中には、車の中で生活せざるをえない人や、

津波で被害を受けた自宅にやむなく戻って生活している人たちもいました」と理事長の白木福次郎さん。

気仙沼で生まれた働く場

気仙沼では、保険福祉事務所と連携し、震災前から年に数回開催していた「高次脳機能障害家族交流会」を、震災後は毎月第四金曜日に開催しています。地元の方や高次脳機能障がい者の家族、市立病院の医師・福祉関係者の方の強い思いで家族以外の方も参加できるように地域交流会と名前を変えて開催するようになり、ほっぶの森からも毎回参加することになりました。

交流会の参加者からは、高次脳機能障がいの方が、なかなか仕事に就くことができない、働く場所がないという声が多く聞かれました。そこで、地元の病院の看護師や作業療法士を中心とした支援者と当事者や家族で、昨年十二月に一般社団法人「コ・エル」を立ち上げ、障がいを持つ人のための働く場、一般就労のためのト

レーニングの場を作りました。ほっぶの森は、法人化や職員研修のサポートをしています。現在、今春を目標に、就労サポートセンターとれいんを南ヶ丘の仮設店舗で開所の準備を進めています。

就労サポートセンターとれいん開所にむけて

このサポートセンターは、定員二十名で、高次脳機能障がい、精神・知的障がいの方を対象に、二年間で一般就労を目指すトレーニング(面接の方法・履歴書の書き方・コミュニケーションのスキルアップなど)を行います。さらに、作業訓練の中で作成した商品を販売し、工賃を得られるシステムになっています。

サービス管理責任者や支援員を含む五名体制で、今後、地元の人を雇用する予定です。組織基盤を固め、ゆくゆくは地元の方々に引き継いでいきたいと考えています。

現地で開所準備を進めている生活支援員の吉田美夏さんは、「昨夏からとれいんの立ちあげに関わっています。気仙沼では、これまで、高次脳機能障がいへの関心が高くありませんでした。二年間で就労までたどり着くのは、決して簡単なことではありませんが、今まで、とれいんのような場所がなかったため、これを機に、障がいのある人たちの社会

参加できる場を家族の方々と一緒に作っていきたくです」と意気込みを語ってくれました。

コ・エルが生まれるきっかけになった地域(家族)交流会は、今後、他地域でも開催を予定しています。「津波被害のあった地域だけではなく、宮城県七圏域を視野に、現地の障がいを持った方々のサポートしていきたい」と白木さんは今後の展望を語ります。

ほっぶの森

の経験とノウハウを地域に還元し、障がいをもつ当事者やその家族の思いに寄り添い、支援者を生み出し、地元根差した福祉の実現を応援していきます。

NPO法人ほっぶの森

〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-5
第三志ら梅ビル4階
●TEL:022-797-8801 ●FAX:022-797-8802
●URL: <http://www.hop-miyagi.org/>



▲理事長の白木さん(手前)とスタッフのみなさん



▲授賞式翌日、喜びを分かち合う会のみなさん

今年二月九日、茨城県水戸市において平成二十四年度地域づくり総務大臣表彰が行われ、当会は団体賞を受賞しました。

表彰式典後のパネルディスカッションでは、素晴らしい活動の紹介や、地域づくり懇談会委員の方からのアドバイスなどがあり、貴重な体験と出会いに恵まれたことに感謝しています。

ちょうど翌日が当会の総会の日で、皆で喜びを分かち合うことがで

平成三十四年度 地域づくり総務大臣表彰団体賞受賞

●NPO法人蔵王のブナと水を守る会寄稿・理事長 白内恵美子

きました。この度の受賞が大きな励みとなり、会員の心に新たな活動への意欲が湧いてきたようです。

あなたがつくる蔵王の森の物語

「蔵王のブナと水を守る会」は、宮城県の南蔵王中腹に広がる荒れ地をブナ林に復元することを目指し、一九八六年に結成しました。以来二十六年間、ブナの原生林を伐採から守る運動と、荒れ地をブナ林に復元する活動を行ってきました。

一九九〇年に国立南蔵王青少年野営場を借りて森づくりを始めるに当たり、森づくりの実働班である「グリーンレンジャー」を結成し活動を開始。秋にはコナラ、ミズナラ、ブナなどの木の実を集め、苗畑や荒れ地に蒔きましたが、標高が高く厳しい環境のためほとんど発芽しませんでした。試行錯誤を繰り返しながら、一九九三年六月に二〇〇人の参加の下「大植林祭」を開催し、五〇〇〇本もの苗を植えました。

荒れ地をブナ林に復元する活動は

失敗の連続でしたが、ヤマハンノキを使った当会独自の植林方法を編み出したことから、その後はほぼ順調に進んでいます。

植林活動のキャッチフレーズは「あなたがつくる蔵王の森の物語」です。なかなか素敵なネーミングだと思いませんか。

ナショナルトラスト運動へ

一九九九年に宮城県第一号となるNPO法人の認定を受け、〇・七ヘクタールの荒れ地を取得しナショナル・トラスト運動を開始しました。二〇〇一年には白石市と共同で十三ヘクタールの荒れ地を買い取り、当会が森への復元を担当、二〇〇四年にはこの土地で白石市制五十周年記念植林祭が開催され一〇〇〇名もの市民が参加しました。



▲毎年6月に南蔵王のナショナル・トラスト地で行われる「植林祭」

毎年六月に開催している植林祭には、一般の参加者ばかりでなく、多くの企業の方々の参加を得ています。現在は取得した土地の植林をほぼ終え、補植と下草刈りや枝打ちの育林作業を行っているところです。二〇〇三年に完成した会員手づくりの丸太小屋を活動拠点として、春を食べる会や木の実を拾う会、森のコンサート、リース作りなども行っています。

昨年五月には、会結成二十六周年記念大会を開催し、これからも南蔵王においてブナの森復元を進めることを宣言しました。

今後は、今まで培ってきた会の植林の技術を活かし、津波の被災地支援をしたいと考えています。

最近、子どもに夢を与えるツリーハウスづくりに取り掛かりました。親子の参加が増えることが期待できます。また、今後は順調に育った森の中に自然観察路を整備する予定です。多くの方々の憩いの場となり、楽しい活動を経験する中から、後継者が育ってほしいと期待しています。

NPO法人蔵王のブナと水を守る会

〒989-0231 白石市福岡蔵本字滝下102
●TEL/FAX : 0224-25-3820
●E-mail : mail@zao.org
●URL : <http://www.zao.org/>

みやぎNPOプラザの図書委託販売を 利用してみませんか？

みやぎ
NPOプラザ

このページは、宮城県からの
NPO関連のお知らせです。

みやぎNPOプラザ（以下、プラザ）では、図書販売コーナーを設けています。現在、プラザで販売を行っている図書は十二種類あり、NPOの活動・運営に役立つ本だけでなく、NPOで発行した図書の委託販売もしています。

NPOの活動に役立つ本

NPOの活動に役立つ図書を、NPO法人会計基準「完全収録版第二版」です。タイトルにある「NPO法人会計基準」とは、NPOの信頼性の向上を目的に策定された会計報告書の作成指針のことです。現在広く導入が推奨されています。このNPO法人会計基準に則った記載例やQ&Aが豊富ですので、会計初心者の方にもわかりやすく、活動にすぐにも役立つ内容です。NPO法人の事務所に一冊は置きたい本です。

このほかにも、NPOの基礎について書かれた本なども販売しています。

NPOが作った本、プラザで売れます！

プラザの図書委託販売は「冊子を作ったけど、どこで販売すればいいのかわからない」「団体の活動を多くの人に広めたい」というNPOのために図書を販売する場を提供し、団体の活動をより多くの人に広めることを目的に行っ

ています。

現在、NPOから委託販売を受けている図書は全部で六冊あります。その中でも特におすすめなのは、大崎市を拠点に活動をしている「食育NPOおむすび」発行の『笑顔をつなぐ「食」の楽しさ大切さ』です。

この本は、団体のこれまでの歩みを通して食育の大切さ、そして食の楽しさを伝えるために発行されました。未来を担う子どもたちを育てる上で、緊急で重大な課題である「食育」。東日本大震災を経験したことでさらに強くなったその思いを、一人でも多くの方に伝えるために、プラザの委託販売を利用して頂きます。これまでの料理教室開催の様子や春夏秋冬の旬の食材を使ったレシピ、食べ物に関する知識など豊富な内容で、「作る人と食べる人をつなぐために楽しく学ぶ場を作っていきたい」という団体の思いがまもられていきます。ぜひ多くの方に読んでもらいたい一冊です。

プラザではこのほかにも環境や福祉など様々な分野で活動しているNPOの図書を販売しています。NPOがどんな活動をしている

るのか知るきっかけとして、ぜひお読みください。

委託販売のお申込みについて

みやぎNPOプラザでは、平成二十五年四月から新たに委託販売をする図書を募集します。四月一日から募集を開始し、総数二十種類に達するまで年間を通して募集します。なお、一団体につき図書二種類まで販売できます。

委託販売の対象となる図書は二種類あります。一つは宮城県を拠点に活動するNPOが、団体のミッション達成のための調査や研究等で得た成果物として作成した図書で、これは報告書、教材、啓発パンフレットなどでも販売することが可能です。もう一つは、地域を問わずNPOの理解や基盤整備に役立つ図書です。NPOがどんな活動をしたのか市民に知ってもらうための図書と、NPO活動を支援するための図書の二種類です。一般の書籍は販売できません。

申込みできるのは法人格の有無に関わらず、宮城県内で活動するNPOや市民活動団体に限ります。

募集要項及び申込用紙はプラザ館内、またはみやぎNPO情報ネットからダウンロードすることができます。お申込みには、「申込書」「プラザ指定の団体概要シート」「団体の規約や定款」の他に、見本一冊をセットにし、プラザ窓口まで提出してください。遠隔

■みやぎNPOプラザ取り扱い書籍一覧

図 書 名	発 行 団 体	お値段(税込)
環境保全米農法の手引き	NPO法人環境保全米ネットワーク	800円
2013年カレンダー「花歴～花で出会える花～」	ビートスイッチ	1,000円
笑顔をつなぐ「食」の楽しさ 大切さ	食育NPOおむすび	500円
東日本大震災の記録 宮城 ～忘れない 伝えよう つながろう～	泉区福祉ガイドブック作成委員会	1,050円
NPO法人会計基準（完全収録版 第2版）	NPO法人会計基準協議会	1,890円
NPO法人会計基準ハンドブック	認定NPO法人NPO会計税務 専門家ネットワーク	500円
泉区福祉ガイドブック こままとときの福祉便利帳（平成22年発行版）	泉区福祉ガイドブック作成委員会	1,050円
仙台のプナ林と水・自然を守る会 20周年記念誌	仙台のプナ林と水・自然を守る会	1,000円
徹底比較！NPO法人vs新公益法人	(特活)シーズ・市民活動を支える制度をつくる会	500円
NPO/NGOのためのCSR入門 ハンドブック	(社福)大阪ボランティア協会	525円
知っておきたいNPOのこと<基本編>	(特活)日本NPOセンター	500円
知っておきたいNPOのこと 3<協働編>	(特活)日本NPOセンター	500円

地にお住まいの団体は郵送での申込みも可能ですので、プラザまでご相談ください。

団体の思いが詰まった図書を、市民のみなさまに届ける場所としてぜひ活用ください。

●図書販売のURL(情報ネット)●

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/jigyous/tosyo.htm>

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者：(特活)杜の伝言板ゆるる)

TEL：022-256-0505 FAX：022-256-0533

E-mail：npo@miyagi-npo.gr.jp

平成25年度 街なか再生助成金

- 助成対象：街なかの再生に寄与する土地区画整理事業等の市街地整備を推進する初動期の取組み。
または、中心市街地活性化基本計画(旧法の計画を含む)等の達成に寄与するために実施する、街の新たな魅力・可能性の発掘、資源(歴史的建造物等)の活用等に関する検討・活動等。
- 対象団体：主にまちづくりに寄与する活動・運動・事業を行っている団体
※全国を対象としているグループは対象になりません
- 助成金額：1件あたり100万円を限度とします。(4～5件程度)
- 対象期間：平成25年度末日迄
- 募集締切：3月31日(日) 消印有効
- 連絡先：財団法人 区画整理促進機構 街なか再生全国支援センター
〒102-0084 東京都千代田区二番町12番地12 B.D.A.二番町ビル2階
TEL：03-3230-8477 FAX:03-3230-4514
E-mail: mail@sokusin.or.jp

平成25年度 タカラ・ハーモニストファンド助成事業

- 助成対象：・豊かな緑ときれいな水を守るための活動助成
・緑の保護、育成、河川等の環境保全創出のための研究助成
- 対象団体：自然環境を守り、育てる活動または研究を実践する個人および団体
- 対象期間：原則として助成金贈呈日より1年間
2年間にわたって利用することも可能
- 助成金額：総額500万円程度、助成件数10件程度
- 募集締切：3月末日 必着
- 連絡先：公益信託 タカラ・ハーモニストファンド事務局
〒600-8006 京都市下京区四条通高倉東入立売中町84
みずほ信託銀行株式会社 京都支店 営業2課
TEL：075-211-6231 FAX：075-212-4915

平成25年度 公益信託自然保護ボランティアファンド活動助成

- 助成対象：我が国の国立公園及び国定公園の自然保護上、重要な地域における自然環境の保全に資する実践的活動で地域の理解や参加協力を得られる広範なボランティア活動
- 対象団体：会則もしくは一定のルールを持ち、代表者等の定めがある、営利を目的としない団体
※申請団体(協議会)に、自然公園財団(本部または支部)か地元自治体(関係機関を含む)または学識経験者のいずれかが構成員として参加していること。また、環境省地方環境事務所または都道府県自然保護担当部局の推薦を受けられること
- 助成金額：原則1件あたり50万円以内(総額600万円予定)
※対象となる活動の内容により、100万円を上限に助成
- 募集締切：4月5日(金)
- 連絡先：一般財団法人自然公園財団 自然保護ボランティアファンド担当
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-2-31 第36荒井ビル2階
TEL：03-3556-0818 FAX：03-3556-0817

2013年 全労済地域貢献助成

- 助成対象：**環境分野**：地域の自然環境を守る活動や循環型地域社会をつくるための活動など
子ども分野：子どもたちの豊かな遊びの場、交流し学びあえる場をつくる活動など、学校外の多様な育ちを応援する次のような活動
※子ども自身が主体的に参画して取り組む活動を重視します
両分野共通で重視する活動：多数の地域住民、市民団体や自治会などが活動に関わることで、人と人とのつながりが生まれ、コミュニティの形成、発展、再生につながるような活動
- 対象団体：・日本国内を主たる活動の場とするNPO法人、任意団体等(NGO、ボランティア団体等)で、設立後1年以上の活動実績があり、直近の年間収入が300万円以下の団体(前年度の繰越金を除く)
- 対象期間：2013年7月20日～2014年7月19日に実施する活動
- 助成金額：1団体あたりの助成上限額30万円、助成総額2,000万円(上限)予定(環境分野、子ども分野それぞれ1,000万円予定)
- 応募方法：所定の申請書類でご応募ください。
※応募要項や申請書類等は、全労済のホームページに掲載します。
下記アドレスよりダウンロードが可能です。
全労済ホームページ<http://www.zenrosai.coop/eco>
- 募集期間：3月11日(月)～4月10日(水)必着
- 連絡先：全労済 総務部内 地域貢献助成事業事務局
TEL：03-3299-0161 FAX：03-5351-7772
E-mail：90_eco@zenrosai.coop

第70回 リユースPC寄贈プログラム

- 寄贈対象：以下のすべての条件を満たす団体
・日本国内を拠点に非営利活動を行っている団体
・社会的課題解決のため、寄贈PCを有効に活用してくださる団体
・ドライバの更新などPCの設定、PCメールでのやり取りが可能で、OSおよびOfficeのライセンス認証ができる団体
※寄贈対象には、社会福祉法人、財団法人、任意団体も含まれます。
- 寄贈PC：CPU Core2 Duo2.8Ghzクラス以上、メモリ2GのデスクトップPC本体(モニター・キーボード・マウスは付属していません) マイクロソフト社Windows 7 professional、Office2007 Personal(ワード、エクセル2007、アウトルック2007)、トレンドマイクロ社 Virus Buster2012をインストールの上寄贈
- 寄贈台数：1団体につき原則として上限5台まで。
(約30台の寄贈を予定)
- 申請期間：2013年3月16日(土)～2013年4月16日(火)(予定)
- 連絡先：認定NPO法人イーパーツ
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-55-8 パレグレイス501
TEL：03-5481-7369(平日13時～17時)
E-mail：info@eparts-jp.org
URL：http://www.eparts-jp.org

- 申込方法：名前(ふりがな)、日中の連絡先(電話番号、FAXまたはメールアドレス)、所属(勤務先など)、託児の希望の有無(希望の場合は月齢)を記入の上、FAXにて申込
ホームページからの申込も可能です
- 申込締切：3月14日(木)
- 主催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連絡先：総務企画課
TEL：022-212-1627 FAX：022-212-1628
URL：http://www.sendai-l.jp/

3/23

「震災から学ぶ」この2年を振り返って

震災から2年、私たちは何を学んだでしょうか。震災の傷跡は、2年たった今でも消えていません。この震災から学んだこと、これから私たちができることを被災された方、支援された方の体験を交えながら考えていければと思います。

- 日時：3月23日(土) 15:30～18:00(受付15:00～)
- 場所：仙台市中央市民センター(パルシティ仙台)5F 第2セミナー室(仙台市宮城野区榴岡4-1-8)
- 内容：★講演1「福島原発事故と震災」
講師：村田純子氏(NPO法人ほっと悠理事長(南相馬市))
★講演2「ボランティア体験・2年過ぎた今は…」
講師：船越一行氏(京都府在住、NPO法人設立中)
★パネルディスカッション「震災から学ぶこと」
- 定員：20名(先着順)
- 参加費：一般800円、PHP友の会会員500円
- 申込方法：氏名、電話番号、FAX、住所、メールアドレス(携帯電話可)を明記の上、下記連絡先まで申込
- 申込締切：3月20日(水)
- 主催：全国PHP友の会東北地区本部
- 連絡先：全国PHP友の会東北地区本部「震災から学ぶ講演会」事務局
〒981-1107 仙台市太白区東中田2-7-32-704
TEL：090-2998-0017(18:30～)
FAX：022-738-8421
E-mail：php.com@i.softbank.jp

3/26

親業セミナー「子どもを伸ばす関わり方」 ～子どもの自主性を育てるには～

子どものことをこんなに思っているのに、何故言うことを聞かないの？何度言ったらわかるの？など、日頃疑問や問題を感じていませんか？

このセミナーでは、親と子のコミュニケーションをより良くし、子どもの考える力を伸ばす「ゴードン博士のコミュニケー

ション・メソッド」を紹介します。

- 日時：3月26日(火) 10:00～11:45
- 場所：エル・パーク仙台 141ビル5F
- 講師：石田えみ子氏(PETフォーラム代表、親業訓練シニアインストラクター)
- 参加費：500円
- 主催：PETフォーラム
- 連絡先：TEL/FAX：022-281-0858
URL：http://www.k3.dion.ne.jp/~smile55/index.html

3/29

第13回ハーモニーコンサート“歌でふれあう心と心そして絆 パート2”

私たちは、3・11を忘れないために「詞」に込められた「想いを繋ぐ歌」を皆さんと一緒に歌いたいと思います。東日本大震災復興ソング「花は咲く」を皆で歌いましょう。

- 日時：3月29日(金) 13:30～15:30
- 場所：サロンわいわい一番町
仙台市青葉区一番町2-5-12一番町中央ビル8階
- 参加費：300円(コーヒー付)
- 内容：「花は咲く」のほか、「かあさんの歌」、「あざみの歌」、「はるかな友」と他12曲を予定。
ピアノ伴奏は、須田久美子さんです。
- 主催：NPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台
- 連絡先：サロンわいわい一番町
TEL：022-217-0101

4/19

テーマ別介護講座

テーマ別に講座を開催し、知識や技術を深める講座です。

- 日時：4月19日(金) 13:30～15:30
- 場所：仙台市シルバーセンター 7F 第1研修室
(仙台市青葉区花京院1-3-2)
- 内容：高齢者のうつについて
- 定員：60名(先着順)
- 参加費：無料
- 対象：仙台市内にお住まいかお勤めの方
- 申込方法：講座名、氏名、電話番号を明記の上、下記連絡先まで電話またはFAXにて申込
※講座前日までに、要予約
- 主催：財団法人仙台市健康福祉事業団
- 連絡先：財団法人仙台市健康福祉事業団 介護研修室
(仙台市シルバーセンター内)
〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-3-2
TEL：022-215-3711 FAX：022-215-3718

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です！**
- 締切：毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6

TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327

e-mail:npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト
「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jp まで

になります。監査チェックリストを基に、会計監査のポイントを学び、団体の信頼度をさらにアップさせましょう！

- 日 時：3月15日(金) 13:30～16:30
- 場 所：みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講 師：橋本潤子さん(公認会計士、NPO法人せんだい杜の子ども劇場理事)
- 対 象：NPO会計担当者や理事、監事など
- 定 員：20名
- 資 料 代：1,000円
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連 絡 先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

3/16 福島原発事故を忘れない 女川原発再稼働を許さない! 3.16みやぎアクション

東日本大震災、そして東京電力福島原発事故から今年3月で丸2年になります。まだまだ福島原発事故は収束しておらず、人々が分断され苦しんだままになっています。「福島原発事故を忘れない! 女川原発再稼働を許さない!」の大きな声を、目に見える形で示す場にしましょう。

- 日 時：3月16日(土)
- 内 容：★(昼)アピール行動
 - ・14:00集合、15:00デモ出発
 - ・集合場所：錦町公園(仙台市青葉区本町2-21-1)
- ★(夜)福島に寄り添い、福島を忘れない! みやぎの集い
- 特別講演「福島原発事故まで何故行きついたのか?」&ゲストによるシンポジウム
- ・18:30～21:00(18:00開場)
- ・場所：仙台市民会館B1F 展示室
- ・講師：佐藤栄佐久氏(前福島県知事)
- ・パネラー：大河原多津子氏(農業者)、佐藤昌子氏(被ばく労働について)、駒崎ゆき子氏(子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク世話人)
- ・定員：500名
- 参 加 費：無料(カンパ歓迎)
- 主 催：女川原発の再稼働を許さない! 2013みやぎアクション(代表 鈴木宏一元仙台弁護士会会長)
- 連 絡 先：TEL：022-373-7000(篠原)
E-mail：hag07314@nifty.ne.jp(館脇)
URL：http://dkazenokai.blog.fc2.com/

3/19 これからのサポートセンターの役割

平成24年5月に開所した「みさと地域活動サポートセンター」のこれまでの歩みと今後の在り方をお話します。講座終了後に参加者の皆さんでお茶を飲みながら気軽におしゃべりをする、『交流カフェ』を開催します。皆で楽しい時間を過ごしましょう。

- 日 時：3月19日(火) 10:00～11:30
- 場 所：美里町駅東地域交流センター 2F 大会議室
- 講 師：松田彰洋氏(みさと地域活動サポートセンター運営協議会事務局長)
- 参 加 費：交流カフェ参加の方は100円
- 持 ち 物：筆記用具
- 申込方法：下記連絡先まで申込
- 申込締切：3月18日(月)
- 主 催：みさと地域活動サポートセンター
- 連 絡 先：TEL&FAX：0229-33-3715

3/22

アース・ビジョン地球環境映像祭20+1

アジアで最も歴史のある、環境がテーマの国際映像祭「アース・ビジョン 地球環境映像祭」。
初めて東京から離れ、宮城県登米市でフェスティバルを行います!

- 日 時：3月22日(金)～3月24日(日)
- 場 所：登米祝祭劇場 水の里ホール
(登米市迫町佐沼光ヶ丘 30)
- 内 容：★上映作品
 - ジョナサン、ふしぎのヤッポ島、模索-原発ができなかった町で、ほか
- ★特別上映プログラム
 - 「天のしずく-辰巳芳子"いのちのスープ"」
 - 「東北の森から明日を考える-木質バイオマスで拡がるエネルギー自立の試み」
- ★シンポジウム
 - 出演：田中 優さん(ap bank監事)
 - 古川 正司さん(さいかい産業 取締役 開発隊長)
 - 辰野 勇さん(モンベルグループ会長・登山家)
 - ほか ※プログラムの詳細はHPをご覧ください
- 申込方法：事前予約不要
- 主 催：アース・ビジョン組織委員会、アース・ビジョン実行委員会
- 共 催：登米市
- 連 絡 先：アース・ビジョン事務局
TEL：0228-22-6721
(日本の森バイオマスネットワーク内)
E-mail：festival@earth-vision.jp
URL：http://www.earth-vision.jp/

3/23 女性の生きづらさをみんなで考えよう みえない貧困とジェンダー

単身で暮らす女性20～64歳の女性の相対的貧困率は32%。3人に1人が「貧困状態」にあります。女性の賃金が男性より低くても、離婚に大きな負担が伴うのも、あまり「社会問題」とされてこなかったのです。
みんなが生きやすい社会の実現に向けて、様々な支援の取り組み事例の中から、解決のヒントを一緒に考えてみませんか。

- 日 時：3月23日(土) 13:30～16:00
- 場 所：エル・ソーラ仙台 大研修室(アエルビル28階)
- 内 容：★調査報告
 - ★基調講演
 - 講師：藤原千沙氏
(岩手大学人文社会科学部 准教授)
- ★パネルディスカッション
 - パネリスト：
佐藤恵美氏(せんだい若者サポートステーション キャリア・カウンセラー)
 - 田中重人氏(東北大学大学院文学研究科・文学部 准教授)
 - 成田洋美氏(公益財団法人せんだい男女共同参画財団職員) ほか
 - コーディネーター：藤原千沙氏
- 定 員：50名(抽選)
- 参 加 費：無料
- 託 児：対象は原則6ヶ月以上小1まで
障がいのあるお子さんや上のお子さんについて
もご相談ください
利用料1人1回300円

- 参加費：無料
 ●主催：つるがや元気会
 ●連絡先：ひまわり手芸店(担当：芦澤)
 TEL：022-251-5663

TEL：022-276-5118 FAX：022-219-5713
 E-mail：melon@miyagi.jp.org

3/12 OrangeCanvas作品展示会 東日本大震災からのRESTART

ネットワークオレンジが震災以降取り込んでいる、アート創作事業「Orange Canvas」。そこで生まれた作品の展示会を仙台で行います。
 記念イベントとして、ネットワークオレンジ代表の小野寺と、Orange Canvasの商品開発に関わっているデザイナーの真山正太氏との対談や、Orange Canvasで行っているアートワークショップに講師としてご参加いただいている、画家の近藤浩平氏とのワークショップなどを行います。
 ぜひ、皆さまお誘いあわせの上お越しください！

- 日時：3月12日(火)～3月19日(火) 9:30～18:00
 (17日(日)休み)
 ●場所：ニコプラザ仙台 コミュニティスペース
 (仙台市青葉区中央1-3-1 アエル29F)
 ●内容：★小野寺氏と真山正太氏(メディアデザイン)との対談(3/12、3/19)
 ★近藤浩平氏(画家)によるミニアートワークショップ(3/12)
 ※当日申し込み、材料がなくなり次第終了
 ●主催：NPO法人 ネットワークオレンジ
 ●連絡先：〒988-0085 気仙沼市三日町2-2-15
 TEL：0226-22-6723
 URL：http://network-orange.jp/

3/13 土で放電、温泉で充電 ～「半農半湯」で休日を楽しむ～

地大豆の栽培と湯治を組み合わせた地大豆湯治や、地域の農業を支える温泉旅館の取組みについてお話を伺います。

- 日時：3月13日(水) 19:00～20:30
 ●場所：和醸良酒〇たけ(仙台市青葉区大町2-4-1 グランドソレイユ大町1F)
 ●ゲスト：大沼伸治氏(東鳴子温泉大沼旅館5代目湯守)
 ●定員：20名程度(先着順)
 ●参加費：3,500円(夕食代、1ドリンク含む)
 ●申込方法：下記連絡先まで要事前申込
 ●申込締切：開催日前日の正午
 ●主催：公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
 ●連絡先：〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45
 フォレスト仙台5F

縦覧中

NPO法人の設立を新しく申請した団体				
団体名	所在地	活動内容	受理日	
宮城県 宮城グリーンフィールド	(主)仙台市 (従)山元町	東日本大震災で被害を受けた地域の農業復興に関する事業を行う	1/18	
PREMO(ぶれも)	塩竈市	高齢者及び障害者等の権利擁護を目的として、成年後見制度の活動支援事業及び相談事業を行う	1/21	
鹿妻・希望の杜	東松島市	東松島市内に住む高齢者や障害者、障害者を含む市民に対して、地域福祉に関する事業を行う	2/4	
孫の手	青葉区	高齢者、生活弱者に対する生活支援事業、コミュニティづくり事業、地球環境・地域環境の保全事業	1/17	
仙 健幸美楽	青葉区	健康運動支援事業、介護予防及び運動啓発事業、サポーター養成事業	1/22	
台 ガーネットみやぎ	青葉区	自立に必要な物資の集積・管理・配布事業、地域の特性を生かした産業創出の機会づくり事業、外部支援団体のコーディネート事業等	1/29	
市 宮城・ミヤノマ友好協会	若林区	ミヤノマとの国際交流活動、支援事業、ミヤノマ経済貿易・投資推進事業、ミヤノマの教育向上支援、人材育成の事業	2/4	
煌の会	宮城野区	障害福祉サービス事業所の運営、フリースペースの運営、フリースクールの運営等	2/4	

3/14 市民活動無料相談会

NPO法人の設立に関わることや市民活動団体の運営に関する相談を、経験豊富な専門家が対応します。お気軽にご相談ください。

- 日時：3月14日(木) 10:00～18:00(1団体約1時間)
 ●場所：とめ市民活動プラザ(下記連絡先参照)
 ●相談対応：大久保朝江氏(みやぎNPOプラザ館長)
 ●申込方法：下記連絡先までお問い合わせください
 ●主催：とめ市民活動プラザ
 ●連絡先：〒987-0511 登米市迫町佐沼字南元丁41-5
 TEL/FAX:0220-44-4167
 E-mail:npo@tome-shiminplaza.jp
 URL：http://blog.canpan.info/tomepura/

3/14 ホームページ作成講座

あなたの団体にホームページはありますか？
 ホームページ作成の経験がない、費用も時間もないとお考えの方に朗報です。
 最新のサービスを利用すれば、簡単にしかも費用をあまりかけないで、あなたの団体にホームページをつくることができます。

- 日時：3月14日(木) 10:30～16:30
 ●場所：みやぎNPOプラザ 研修室
 (仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
 ●対象：非営利団体(法人、任意を問わない)の関係者
 ●定員：5名(先着順)
 ●持ち物：実習を中心におこなうのでパソコンを持参してください。貸出も可能ですが、貸出料として、200円別途いただきます。
 ●申込方法：下記連絡先より申込用紙をダウンロードし、必要事項を明記の上、FAX・メールで3月11日まで
 ●参加費：2,000円(当日会場にて)
 ●主催：NPO法人イー・エルダー東北支部
 ●連絡先：TEL/FAX:022-796-8091
 E-mail：tohoku@e-elder.jp
 URL：http://www.e-elder.jp/tohoku/

3/15 NPO法人の会計監査のポイント

NPO法人にとって、会計処理が正しく行われていることは会員や寄付者を納得させ、更なる支援の輪を広げるチャンス

NPO法人に認証された団体				
団体名	所在地	活動内容	認証日	
宮城県 High-Five	塩竈市	震災被災地を支援する活動及びスポーツを通して、被災地の子供達に夢と希望を持たせる啓蒙活動を行う	1/15	
移動支援Rera	石巻市	移動困難な人々に対する送迎活動等のサポート事業	1/25	
子どもグリーンスポートステーション	(主)仙台市 (従)横浜市	親や大切な人と死別などの喪失体験をした子どもとその家族に対するサポート事業を行う	2/1	
仙 トータルケア	青葉区	医療・介護の推進に寄与する文化事業の企画、運営、医療・介護事業の紹介事業、医療・介護事業に関する相談事業等	1/17	
台 ICT支援NPOネットワーク宮城	宮城野区	人材育成の企画・運営事業、情報支援と交流事業、講師等の派遣事業	1/23	
市 宮城県セーリング連盟	太白区	セーリングスポーツ競技会及び講習会並びにセーリングスポーツ普及のための行事の開催、後援及び援助、セーリングスポーツに関する指導者の育成等	1/28	

宮城県のNPO法人数 **697** 団体
 宮城県等所轄:310団体
 仙台市所轄:387団体
 ※2013年2月10日現在

- 参加費：500円
- 託児：子供同伴や託児をご希望の方はご相談ください
- 申込方法：連絡先を添えて下記連絡先まで申込
- 主催：みやぎジョネット（みやぎ女性復興支援ネットワーク）
- 連絡先：南三陸町事務局（ジョネットハウス）
〒986-0762 南三陸町志津川塩入25
TEL：0226-29-6296、080-1690-3768
FAX：0226-29-6297
E-mail：intime@rr.ij4u.or.jp

3/8 「3.11から2年、東北からありがとう」

「3.11から2年、東北からありがとう」と題して、さをり作品の展示販売会、報告会を行うことになりました。さをりのつながりから生まれた元気の風をお届けしたいと思います。SAORIAS及びおもいのかたち拠点づくりによって発足した宮城・福島・岩手の取組と、東日本大震災の被災地以外にもおこっていたことなども発表し、おもいを共有します。

【「さをりでおこす元気の風」展】

- 日時：3月8日（金）～11日（月）10:00～18:00
- 場所：東北ろっけんパーク（仙台市青葉区中央2-5-8）

【SAORI被災地支援報告会】

- 日時：3月18日（月）13:00～16:00
- 場所：宮城野区文化センター シアターホール（仙台市宮城野区五輪2-12-70）
- 内容：★アートさをりエンジェルズコンサート（福島・アートさをりのメンバー）
★さをりショー ★合唱「元気になろうよ」
★「3.11から2年 東北からありがとう」作品販売も同時開催

【共通事項】

- 参加費：無料
- 主催：NPO法人 さをりひろばネットワークセンター仙台
- 連絡先：TEL：022-296-1511

3/10 ドキュメンタリー映画「津波のあとの時間割～石巻・門脇小・1年の記録～」

震災後今も頑張る方々を今一度知ってほしいという思いで、この上映会を行うことにしました。前向きに頑張る子供たちの素晴らしい姿を多くの方に見ていただいてほしい映画です。

- 日時：3月10日（日）11:00～約2時間（開場10:30）
- 場所：のびすく泉中央4F ホール
- 対象：小学生以上ならどなたでも（未就学児は親子ルームでの鑑賞のみ可（定員10組）男性不可）
※未就学児には託児あり（下記託児参照）
- 定員：120名（先着順、予約制）
- 参加費：無料
- 託児：1,400円（10:45～13:45）
・定員：10名
- 申込方法：氏名、住所、電話番号、託児、親子ルーム使用希望の方はその旨とお子さんのお名前、年齢を明記の上、メールにて申込
- 主催：ままふあ会
- 連絡先：E-mail：mamafrasendaiinfo@yahoo.co.jp

3/10 仙台ピアカウンセリングの集い ～第18回 仲間と共に語る場を持ちませんか～

大震災から1年11ヶ月が過ぎました。あなたの痛んだ心は修復できたでしょうか？一人で悩んでいませんか？こんな時だからこそ話し合える仲間が、話す場が必要なんです！まだハジメの一步を踏み出せないでいるあなた。一步踏み出したけれど立ち止まっているそんなあなた。仲間と経験と力と希望を分かち合い勇気をもって力強く、一步一步共に歩んでいきましょう！

- 日時：3月10日（日）14:00～16:00
- 会場：仙台市福祉プラザ10階 第4研修室（仙台市青葉区五橋2-12-2）
- 対象：精神障害当事者、健常者であっても今回の大地震で心が痛み、回復が進まず悩んでいる方及び家族に限定（タイプB型例会クローズ方式）
- 内容：ひたすら体験を語り又聴くことを通して精神疾患や心の悩みからの回復を目指す自助グループの集いです
- 定員：20名（予約制）
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先まで電話またはメールにて申込
※予約なしの場合でも席に空きがあれば歓迎
- 主催：仙台心のケア研究会
- 後援：仙台市精神保健福祉総合センター（はあとぼーと仙台）
- 連絡先：（担当：吉村）
TEL：080-3328-7186
E-mail：qqw59pc9k@star.ocn.ne.jp

3/10 共に生きる石巻を作り出す連続公開講座

この講座では、障がい児・者と健常者が共に生きる地域社会を構築していくために行動してこられた方々を全国からお招きし、これから私たちが「誰にとっても住みよい街・石巻」を作っていくための手がかりにしていこうを目指しています。

- 日時：3月10日（日）13:30～16:00
- 場所：石巻市保健相談センター（石巻市鑄銭場1-27）
※駐車場に限りがあります。駐車できない場合は有料駐車場をご利用ください
- 講師：牧口一二氏（大阪府「認定NPO法人ゆめ風基金」代表理事）
- テーマ：「震災後を生きる」
- 参加費：無料
- 託児：必要な方は下記連絡先までご連絡ください
- 主催：被災地障がい者センターみやぎ
- 連絡先：TEL：022-746-8012（仙台）、0225-25-5388（石巻）
E-mail：teesaanangel@yahoo.co.jp

3/12 つるがや元気会健康講座「心筋梗塞の治療と予防」～最新情報～

たばこ、血圧、脂質、体重…生活習慣の見直しで、狭心症・心筋梗塞を防ぎ、改善することができます。そして、適度な運動で元気に過ごしましょう！

- 日時：3月12日（火）14:00～15:30
- 場所：鶴ヶ谷市民センター 第1会議室
- 講師：加藤敦氏（公益財団法人仙台市医療センター、仙台オープン病院循環器内科部長）

事業案内

NPOのための法人設立・団体運営相談

NPO法人の設立に関わることやNPOの運営について、お気軽にご相談ください。

- 日 時：毎週水曜日 13:00～17:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ
- 定 員：3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間。
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

気仙沼 フリースペースつなぎOPEN！利用者、ボランティア募集！

「学校以外に安心できる居場所があったらいいな」「自分のペースで勉強したいな」と思っている子どもたちや、学校に行かない経験をしたり、生きづらさを抱えている若者たちのための居場所です。
創作活動、料理、勉強、農業、音楽、ゲーム、スポーツなど、自分のやりたいことを自分のペースでできる、ありのままの自分でいられる、自分に自信がもてる場所。「フリースペースつなぎ」はそんな素敵な空間を目指しています。
みんなでゆったりと幸せなひとときを過ごしましょう。まずは見学に来てみてください。

- 利用時間：日・月・水・木の10:00～16:30
開いている時間内は、好きな時間に来て好きな時間に帰ることができます。
- 場 所：フリースペースつなぎ(気仙沼市内)
- 月 会 費：18,000円(初年度価格)
- 利用者対象年齢：6歳(小学1年生の年齢)～25歳くらいまで
- 主 催：フリースペースつなぎ
- 申込方法：利用者、ボランティア申込は下記連絡先までご連絡ください。
- 連絡先：TEL：090-3646-4397 (森)
E-mail：space.tsunagi@gmail.com
URL：http://spacetsunagi.wix.com/kesenuma

NPOのための会計・税務相談

日々の会計業務から決算書作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい税理士が、ご相談をお受けします。

- 日 時：3月21日(木) 13:00～17:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ

- 定 員：3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

NPOのための雇用なんでも相談

NPOの雇用手続き全般から、就業規則の作成や見直し、職場環境・人間関係の問題まで、雇用に関することをご相談下さい。

- 日 時：4月11日(木) 13:00～17:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ
- 定 員：3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

イベント

3/5 エンパワメント連続講座 ひらめき★トキメキ物語 Vol.2

ゆるりしながら元気をたくわえて、暖かくなったらはじけましょ！
気負わずに、楽しみながらご参加いただけます。
さまざまなところで、私たちのとぎれとぎれになりがちな想いが活かせるようなヒントを詰めたお話内容になっています。
※日程のあう講座への単独参加も可能です。

- 内 容：★第2回「女性が元気で生きるには～負け癖社会から抜け出すために」
日時：3月5日(火)
講師：竹信三恵子氏(ジャーナリスト、和光大学教授、東日本大震災女性支援ネットワーク共同代表)
- ★第3回「1ミリでもいい、前に進もう」
日時：3月21日(木)
講師：石川治江氏(社会福祉法人にんじんの会理事長、NPO法人ケア・センターやわらぎ代表理事)
- ★第4回「組織作り～仲間と何か始めたいと思った時」
日時：3月30日(土)
講師：足立千佳子氏(NPO法人まちづくり政策フォーラム理事)
- ★第5回「ファシリテーション」
日時：3月31日(日)
講師：大久保朝江氏(NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)
- 時 間：すべての回13:00～16:00
- 場 所：平成の森 大会議室(南三陸町歌津字榎沢28-1)

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2013.2.16現在)敬称略

●正会員 50名

★仙台市 ●大泉大介

●賛助会員 91名

★仙台市 ●木村さち子

●在宅緩和ケア支援センター 虹

●みやぎ子育て・女性健康支援センター

田村雪子

★名取市 ●渡辺聖子

会 員 募 集

杜の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊杜の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	3,000円
賛助会員NPO	5,000円
賛助会員企業・団体	20,000円

■会員には毎月「月刊杜の伝言板ゆるる」が届きます。
※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる
(会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

information

2月15日までにゆるる編集部へ届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

協力会員募集「有償ボランティア」 ～あなたの時間を活かしてみませんか？～

「ゆうあんどあい」は、会員同士が相互に援助活動を行う法人です。あなた（YOU）とわたし（I）で助け合いの輪を作り、地域に根ざした活動を広げ、安心して暮らせるネットワーク作りを目指しています。

- 活動内容：★家事援助（主に高齢者対象で掃除、食事作り）
★病院通院の介助、入院時の洗濯等
- 活動時間：活動できる曜日と時間を登録していただきます
- 活動場所：主に仙台市内
- その他：3時間程度の基礎研修を受けていただきます
- 会費：入会時に入会金2,000円、年会費2,400円
- 主催：NPO法人ゆうあんどあい
- 連絡先：仙台市宮城野区榴岡5-13-18 リラ榴岡
TEL：022-792-7020

子ども・若者の学びをサポートしてみませんか？ 学習支援ボランティア募集

まきばフリースクールは、ひきこもり・発達障害等、さまざまな生き辛さを抱える本人や家族の心の安定を支え、教育・生活・就労に関する支援を行います。フリースクールの子ども・若者がそれぞれのペースで学び、成長するための支援をお願いします。

- 日時：毎週月～金曜日 10:00～17:00
※上記の曜日や時間帯のうち、応相談
- 場所：まきばフリースクール
- 内容：学習支援ボランティア
- 待遇：交通費支給 ※当団体規定による。上限あり
- 申込方法：メールの件名を「学習支援ボランティア希望」とし、下記連絡先まで申込 ※詳細は面接にて
- 主催：NPO法人まきばフリースクール
- 連絡先：〒987-2183 栗原市高清水袖山62-18
TEL：0228-25-4481 FAX：0228-25-4482
E-mail：makibafree@mail.goo.ne.jp
URL：http://www3.ocn.ne.jp/~mkb-free

有給スタッフ

福祉仮設住宅「あがらいん」スタッフを募集中！

利用者と日常生活と一緒に送りながら“その人らしい暮らし方”ができるよう、お手伝いする仕事です。施設内の業務の他、食堂やお惣菜の移動販売、地域交流イベント等の運営などもお願いします。その他、一般事務スタッフも募集しています。

【福祉仮設住宅「あがらいん」スタッフ】

- 仕事内容：高齢者等の介護や日常生活のお世話、施設内の清掃、食堂の配膳、調理補助、来客対応や、地域交流イベント等の開催運営
- 期間：平成25年3月31日（年度毎契約更新となります）
- 勤務時間：1)0:00～9:00 2)6:00～15:00
3)9:00～18:00 4)10:30～19:30
5)15:00～翌0:00 ※1)～5)のシフト制
- 勤務条件：月給176,000円 ※夜勤手当・通勤手当等有り
社会保険加入、車通勤可、食事付き（自己負担あり）
週休2日シフト制
- 募集人員：2名
- 資格：18歳以上（夜勤があるため）、ヘルパー2級以上・介護経験者歓迎
普通自動車免許（AT限定可）

【パート一般事務スタッフ】

- 仕事内容：現金管理・出納帳記帳・帳票ファイリング他、一部施設内対応業務あり
- 勤務時間：月～金 9:00～15:00（または9:30～15:30）
- 勤務条件：時給800円 通勤費月額上限3万 雇用保険加入
- 募集人員：1名
- 資格等：エクセル・ワードが使える方、普通自動車免許（AT限定可）

【共通事項】

- 勤務地：石巻・開成のより処 あがらいん内
（石巻市開成1-5開成公園グループホーム3号棟）
（JR「石巻」駅より車で15分）
- 応募方法：希望職種を明記の上、履歴書（写真貼付）、職務経歴書を下記連絡先までご郵送ください
- 募集主体：NPO法人 全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）
- 連絡先：〒981-0932 仙台市青葉区木町16-30
シンエイ木町ビル1F
TEL：022-727-8730（担当/総務部 堀切）
URL：http://www.clc-japan.com/

放課後等デイサービスの有給スタッフ募集

障害のある小・中・高校生の放課後活動、余暇活動の支援をします。子どもたちと一緒に楽しく活動してくれる方を募集します。

- 勤務時間：月～金9:30～18:30
- 勤務場所：栄つばめっこ（仙台市宮城野区栄2-2-19）
- 資格：専門学校卒以上
ヘルパー2級以上、普通自動車免許必須
- 待遇：月給17万円 通勤手当
雇用、労災、健保、厚生年金
- 募集主体：NPO法人つばめっこ
- 連絡先：〒981-3133 仙台市泉区泉中央2-19-10
TEL：022-371-0760 FAX：022-371-0760
E-mail：tsubamekko2013@gmail.com

◆〈ろうきん〉は「助け合い」の金融機関。働く人の暮らしと福祉、社会の充実に取り組みます◆

宮城県との提携による低利な融資制度!!

宮城県勤労者 融資制度

をご活用ください!!

通勤用マイカー資金、
リフォーム資金等
はたらくみなさんをバックアップ

■宮城県生活資金■

ご利用いただける方

- ①住所が勤務先が宮城県内にある中小企業にお勤めの方
- ②原則満20歳以上で、勤続1年以上、前年税込み年収150万円以上の方
- ③当金庫の審査基準を満たされる方



お使いみち

- ①通勤用マイカー購入資金
- ②住所移転費用
- ③結婚・出産・療養・葬祭に要する費用
- ④納税に要する費用
- ⑤住宅修理・付帯設備設置、災害復旧の費用
- ⑥介護機器等の購入費用
- ⑦上記①～⑥をこの制度に借り換える費用
(日常生活費及び上記使途以外の借り換え費用にはご利用できません。)

ご融資金額

最高200万円 最長5年 (条件により1年以内の
元金据置期間含む)

ご融資期間

ご融資金利

年2.50% (固定金利)

担保・保証人

当金庫指定の保証機関をご利用いただきますので原則不要です。
保証料は別途必要になりますが、保証料が補給される制度もあります。

2013年3月1日現在



お問合せ・お申し込みは〈東北ろうきん〉宮城県内の最寄りの店舗へ

0120-1919-62

かほく「108」 ファンド



助成金の申請を
受け付けます。

テーマ
「子ども」



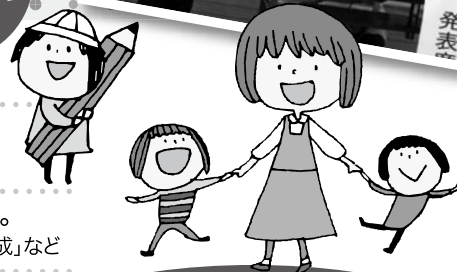
- かほく「108」クラブは、社会貢献活動の推進を目的として
- 河北新報グループ11社と、そこに働く従業員で構成し、
- 寄附を出し合って運営している任意団体です。

応募期間 3月1日(金)～3月31日(日)消印有効

対象団体 宮城県内で活動し、1年以上活動実績があり、活動は非営利、
公益的なものであること。(法人格の有無不問)

助成対象 「子ども」をテーマに、子どもにかかわる活動を展開している団体。
(例)「子どもの健全育成」「子育て支援活動」「いろいろな文化を通じた子どもの育成」など

助成金額 総額150万円以上 (1件上限20万円)



平成25年かほく

「108」ファンド受付開始
<http://blog.kahoku.co.jp/csr/>

連絡先

かほく「108」クラブ事務局

〒980-8660 仙台市青葉区五橋1-2-28 河北新報社総務広報部内

TEL:022-211-1447 FAX:022-211-1448 E-mail:k108@po.kahoku.co.jp